

全国英語教育学会 2020年度第2回理事会議事録

■日 時：2020年8月22日（土） 10:00 - 12:00

■会 場：オンライン会議（Zoomで実施）

■出席者：

伊東治己（会長）、深澤清治（副会長・会長代行）、里井久輝（副会長・関西）、中村香恵子（副会長／理事・北海道）、志村昭暢（理事／幹事・北海道）、久保田佳克（理事・東北）、佐藤博晴（理事・東北）、斉田智里（理事・関甲信）、嶋田和成（理事・関甲信）、紺渡弘幸（理事・中部／長野研究大会実行委員長）、酒井英樹（理事・中部／長野研究大会副実行委員長）、泉恵美子（理事・関西）、横川博一（理事・関西）、竹野純一郎（理事・中国）、高橋俊章（理事・中国／紀要編集副委員長）、齋藤嘉則（理事・四国）、長崎政浩（理事・四国）、柳井智彦（理事・九州）、折田充（理事・九州／紀要編集副委員長）

<以下、オブザーバー>

笠原究（紀要編集委員長）、沢谷佑輔（紀要編集事務局長）、エイドリアン リース（幹事・東北）、濱田彰（幹事・関甲信）、田中武夫（幹事・中部）、橋本健一（幹事・関西）、松浦加寿子（幹事・中国）、水野康一（幹事・四国）、麻生雄治（幹事・九州）、和田順一（長野研究大会事務局長・中部）、山森直人（事務局長・四国）

- ・ 議題の審議に先立ち、伊東会長からの挨拶、出席者からの自己紹介が行われた。

■議 題：

1) 会長選挙結果について（資料1）

- ・ 資料1（当日オンラインにて画面共有）にもとづき、伊東選挙管理委員会委員長より次期会長選挙の経緯と、第2回投票（決選投票）の結果および氏名が公表され、深澤清治副会長が次期会長候補者として承認された。
- ・ なお、会長選挙細則第6条(5)にもとづく総会での次期会長候補者の承認については、今年度の長野研究大会が2021年8月に延期されたことをふまえ、次年度（2021年度）の長野研究大会・総会において、選挙管理委員会から新会長の氏名と選考過程を公表し、事後承認（新会長の任期はすでに2021年3月より始まっているので）を得ることが承認された。
- ・ また、伊東会長より、深澤次期会長に新事務局編成が依頼された。

2) 2020年度総会の開催時期について

- ・ 2021年度総会において、2年分（2020年度と2021年度）の総会を開催することが承認された。

3) 2020年度年会費について（資料2）

- ・ 伊東会長より資料2にもとづき、2020年度年会費について説明・提案があり、長野研究大会の1年延期にともなう年会費の減額は行わず、例年通りとすることが了承された。

4) 事務局から総会に提起する議題について（資料3, 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5）

- ・ 山森事務局長より第1号議案「2020年度役員」について説明があった。原案として、関西地区の役員改選に伴い里井理事（副会長）に代わり横川博一氏が理事として就任し、里井氏は副会長

を継続することが確認された。また、中部地区より、長野研究大会実行委員会委員長を紺渡理事から酒井理事に、副委員長を酒井理事から紺渡理事に変更する旨の提案があった。審議の末、以上の変更を加え原案が了承された。

- ・ 山森事務局長により第2号議案「2019年度会務報告」および第3号議案「2019年度会計報告」の説明があった。その後、第4号議案として、会計監査の結果について、代理にて山森事務局長より会計報告に誤りがないことが報告された。審議の末、原案通り了承された。
- ・ 山森事務局長による第5号議案「2020年度事業計画」の説明に続き、第6号議案「2020年度予算案」が提示された。審議の末、原案通り了承された。

5) 各地区学会の担当ローテーションについて（資料4）

- ・ 資料4もとづき、伊東会長より各地区学会のローテーションについて説明があり、原案の通り了承された。
 - 2021-2022年度会計監査を鬼田崇作氏（中国）、2021-2022年度紀要編集委員会委員長を宮迫靖静氏（中国）が担当する。
 - 2021-2022年度紀要編集副委員長の担当者について、東北地区と北海道地区より2020年12月を期限に各1名選出するよう依頼された。

6) 第46回長野研究大会について（資料5-1, 5-2）

- ・ 長野研究大会実行委員会の紺渡理事（前・実行委員長）より挨拶があり、酒井理事（新・実行委員長）より、2021年開催の長野研究大会について説明と提案があり、原案の通り了承された。主な点は次の通りである。
 - 2021年8月7日（土）、8日（日）にて開催する。
 - 研究大会をオンライン開催にて実施する。
 - 参加費を変更する。詳細については2021年度第1回理事会（2021年3月開催）にて提案。
 - ZoomやYouTube Live（限定公開）を活用して、シンポジウム・講演会、各種フォーラム・ワークショップ、自由研究発表・事例報告、ポスター発表、企業展示を行う。より詳細な実施形態については今後検討のうえ報告する。
 - 懇親会は開催しない。
 - 申し込み締切日は次のとおり（予定）。
 - 発表応募締切日 2021年5月14日（金）
 - 予稿集原稿提出締切日 2021年6月11日（金）
 - 参加事前申込締切 2021年7月2日（金）
 - 長野研究大会実行委員会企画の特別講演会は実施するが、講師については今後調整する。
- ・ 各地区担当の課題研究フォーラムや授業研究フォーラムについては、オンライン開催を考慮し、実施形態について2020年11月までに長野研究大会実行委員会と調整する。

7) 長野研究大会シンポジウム、ワークショップについて（資料なし）

- ・ 伊東会長より、理事会（研究／大会企画部）企画のシンポジウム・ワークショップについて説明があり、基本的には、2021年度に延期された2020年度長野研究大会用に企画したものと同様の登壇者とテーマを予定しているが、今後、変更・調整の可能性もあることが了承された。

8) 学会賞等について（資料6）

- ・ 笠原紀要編集委員長より、資料6にもとづき、学会賞の候補について報告があり、原案の通り了承された。また、授賞式は2021年度総会にて行うが、商業誌を通じて学会賞受賞について公表

することが認められた。

- ・ 笠原紀要編集委員長より、資料 6 にもとづき、ARELE 第 32 号の編集計画について報告があった。特に投稿受付期間については、編集事務作業の効率化のため、2020 年 9 月 25 日から 10 月 9 日までとし、了承された。
- ・ 英語版「執筆要領」については、次年度以降に向けて準備していくことが報告された。
- ・ 伊東会長より、紀要編集委員会に対し、編集計画にける 12 月下旬において、新会長・新副会長に採択数等について相談するよう依頼があった。

9) ARELE 投稿論文査読の有償化について (資料 7)

- ・ 伊東会長より、資料 7 にもとづき、ARELE への投稿論文の査読料に関する他学会の事例や本学会関係者からの聞き取り結果等の説明があり、審議の結果、理事会としては、他学会にならない、これまで通り無償とすることとなった。

10) 事務局各部からの報告と提案について (資料 8-1, 8-2, 8-3)

- ・ 各部より提出された配布資料 (8-1, 8-2, 8-3) にもとづき、財務部からは 2020 年度の賛助会員リスト (2020 年 8 月 17 日時点, 23 社) について、広報/通信部からは Newsletter の発行, ML 登録者や Twitter フォロワー数の増加, JASELE ウェブサイトの更新状況について、学生支援部からは第 8 回大学生・大学院生フォーラムの予定, 学生会員の研究大会参加助成金制度, 次年度以降の課題について、山森事務局長より代理報告・提案がなされた。

■報告事項:

1) 第 47 回北海道研究大会について (資料なし)

- ・ 中村北海道地区理事と志村北海道地区理事より、第 47 回北海道研究大会について報告された。今後変更の可能性はあるが、現時点では、北海道科学大学 (札幌市) にて、2022 年 8 月の第 1 週の土日の開催を予定している。今後、2021 年 3 月開催の第 1 回理事会および同年 8 月開催の第 2 回理事会にて詳細を検討していく。

2) 「英語教育セミナー」について (資料 9)

- ・ 山森事務局長より、資料 9 にもとづき、2021 年度の英語教育セミナーの募集について案内された。申請締め切りは毎年 1 月末である。詳細については、JASELE ウェブサイトの英語教育セミナーのサイトを確認するよう説明された。

3) 言語系学会連合との「共催」制度について (資料 10)

- ・ 山森事務局長より、資料 10 にもとづき、言語系学会連合との「共催」制度について説明があった。2021 年度開催イベントについては、2020 年度開催イベントと同様であれば、言語系学会連合事務局へ 2020 年 12 月 1 日から 2021 年 2 月末日のあいだに応募することになるため、本学会では 2021 年 1 月末日を JASELE 事務局への応募締切日とし、複数応募があった場合は、JASELE 事務局にて 1 本を選出し、JASELE 事務局より言語系学会連合事務局に応募する。2020 年度開催イベントとしては、関東甲信越地区の研究会が選ばれており、2021 年 2 月 6 日の開催を予定している。
- ・ 上記の応募手続きについては、詳細が確定後に JASELE 事務局より各地区学会事務局に案内する。